

たやちょうつつみいせき
田谷町堤遺跡

横浜市栄区No.110

- 調査期間** 2017年7月1日～継続中
- 所在地** 横浜市栄区田谷町
- 時代** 近世、中世、奈良・平安、古墳
- 調査原因** 国土交通省関東地方整備局による
高速横浜環状南線建設事業に伴う
埋蔵文化財発掘調査
- 遺跡位置** JR大船駅の北西約2.5キロに位置し、関谷川付近の微高地上～低地に立地する



主な調査成果

2017(平成29)年度から発掘作業を実施しています。調査対象範囲を現道・水路を境に1～3区に分け調査を進めており、1区は現況と水路等を境に着手時期を分け、北側・中央・南側に細分し、都合5地点の各所において弥生時代後期～古墳時代、奈良・平安時代～中世前半、中世後半、近世の四つの遺構面で土坑、ピット、溝状遺構などを検出しています。

遺物は中世～近世の陶磁器類のほか、かわらけの破片や木杭等の木製品、金属製品などが調査区全体から出土しています。また第三面の遺構群のうち溝状遺構からは古墳時代～奈良・平安時代の土師器片と共に杭や板材などの木製品が確認されています。



溝状遺構 木製品出土状況



弥生後期～古墳時代遺構群